

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	児童発達支援事業 凜近江八幡		
○保護者評価実施期間	2025年12 月1 日		~ 2026年1 月 30日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	6	(回答者数) 3
○従業者評価実施期間	2025年12 月1 日		~ 2026年 1月30 日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	14	(回答者数) 9
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 1月24 日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	プログラムに沿った課題に取り組むのではなく、子どもたちを主体的に考え、行動し、子供たち同士の関りの中で楽しい時間を過ごし、又共に成長していける環境であること。	子供たちが、「〇〇したい」の声を大切にし、子供たちが主体的に遊びを考え、支援員もアイデアを考える。子どもたちの声に合わせて職員が遊びに参加できています。みんなで応援しあったり「今日も楽しかった」という時間になるように支援を行っています。遊びに参加できない子どもたちにも個別に対応しています	子どもたちの「〇〇したい」気持ちを尊重し、ルールや約束事を確認しながら子供たちが主体的にのびのびとリラックスして過ごせるような環境作り、支援をしていきたいです。
2	子どもたちが様々な経験を通して学び、成長に繋がるような企画が豊富であること。	長期休みや、休日の日は時間がある中で、地域の施設を借りて身体を動かしに行ったり、人数を調整しながら安全に行けるように調整し、日頃体験できないようなワクワクする行事を企画していく。	子供たちの特性に合わせ、今後もいろいろなことを経験し、子供たちがワクワク楽しめる行事やイベント内容を企画していきます

3	利用者様にあった一人ひとりにあった目標設定 目標を達成するための提案や提供を1日10分の時間を使い個別活動を行う	短期目標・長期目標を達成するために段階的に日々の取り組みを観察し評価し成長が見られる時には支援員で会議などで情報共有をして徹底しています。	短期目標に合わせて、長期目標の修正をこまめに行い、個別に合わせてより達成を目指せる目標設定を支援員同士で検討し会議の場で話しあいを行う。
---	--	---	--

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	地域とのコミュニケーション 関りや交流	新型コロナウイルスの影響によりイベントの縮小 イベント詳細を自ら知れるようなきっかけを作る	感染症対策の徹底を引き続き行う
2	施設内や活動やイベントの内容をもっと保護者様に知ってもらおう	通所回数も少なめであり、保護者会などの機会が減り、日程に問題があるのか今後も凜近江八幡のことを知ってほしい為に 保護者会など集まれる場を作っていく	日数調整が出来やすいように早めに保護者会の日を設けるフラット、参加できるような雰囲気を作る。又 施設内を紹介し普段の過ごしを知ってもらう。
3	各種マニュアルを策定し、定期的に避難訓練を事業所として行いHP等にマニュアル等避難訓練の実施内容を載せていき周知していく又、職員周知も含めル が出来てないが課題である。	避難訓練は定期的に行い、わかりやすいマニュアル作りを定期的に職員間でミーティングを行い、発信力や弱さや危険管理力に欠けている部分がある	SNSやHPに載せるのを継続し、職員間ではマニュアルを熟読したり、定期的に避難訓練を実地する等、周知徹底が出来るように努力していく。